

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
<p>1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。</p>	<p>光ファイバー敷設でなく、WiMAX などの高速無線通信にすべきと考えます。</p> <p>理由:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者は固定電話を使わず携帯電話のみで生活していることが多く、わざわざ有線を引き込むのに抵抗がある。 ・インターネットに無関心な高齢者が、費用を払って光ファイバーを引き込む必要性が見いだせない。 ・賃貸住宅の場合、有線を引き込むのに大家(家主)の了解を得るのはなかなか困難である。地デジのアンテナ設置でも了解が得られにくいです。 ・電話がそうであったように、有線からいずれ無線に向かうと考えます。光回線を引いても、無線に移れば無駄になります。
<p>2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適切と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。</p>	